



平成23年度 北中物語 11号-I

平成23年7月5日発

文責:校長 中村 裕子

校長mail yuko-nakamura@staff.gsn.ed.jp

今号は1年生のみなさん・保護者様への**特版**です。

入学から3ヶ月が経とうとしています。早いものです。1年生はもうすっかり中学生の顔つきになってきております。(男子はたくましく、女子は大人っぽくなってきました)今頃の1年生、きっと疲れた体に自分自身で檄を飛ばしながら、1学期終盤に精をだしていることでしょう。(疲れやテレビ・眠気にかけている人もいるだろうけど・・・)

本年度の北中の1年生、全体的には意欲的な生活ぶりです。具体的には、「何をやらなければならないか」がよくわかっているのが、実に安定感があります。有望です!!

このように、順調な中学校生活を送ってはいますが、当然のこと、個々には、課題も表出してくれています。(こここのところ1年生を重点に授業参観しています)

そこで、ここに、校長目線での1年生の見え出してきた課題をお知らせいたします。

〈今すぐ改善しなければならない困った子の姿から〉

1年生最大の個人差 = 学習に取り組む姿勢

→課題として出されている学習の他に自主学習を充実させている生徒が多くいる中で、勉強から気持が離れてしまっている生徒が各学級5~6人見受けられます。この生徒に共通していることは、①忘れ物がある。 ②教科ごとのノートを持っていない(当初は持っていたのですが・・・)です。これは、「家庭学習をしない→翌日の授業がわからない→学校生活全体に意欲がなくなる→忘れ物を平気でする→忘れ物があつての授業はおもしろくないからわからない」という負の循環を引き起こしてしまっているのです。この負の循環を一刻も早く断ち切らなければ、この先の中学校生活が悲惨なものになってしまいます。

その断ち切りは、まず、「家で勉強する」ことをおいて手がありません。家庭での勉強の内容は、学校から出されている課題を必ずすることです。(家庭学習の習慣がついていない場合はこれ以上のことをする必要はありません)まずは、「課題を確実にする」のです。その次に、朝学習で行っている基本中の基本である「英語単語」や「基本の計算」を15分間やりきってみることです。この朝学習の15分に気が散っているようでは、授業への取組は知れてます。

以上の2つをやり切れて始めて、力をつけることのできる「学習」に入れるのです。



自分の取組を冷静に振り返り、「これはまずい」と思う人は、まだ大丈夫。「まずい」と思えば「修正の行動」を起こしている人は有望。何も感じない人は、残念ですがそこまです。中学生時代は、人生のうちでいちばん、心がけや行動が良くも悪くも形になる時期なのです。

13歳の道を歩んでいるみなさんに送る応援メッセージ

君は照りつける太陽の下で無心に声を出している
そしてボールを追っている
君はじっとしていても汗がしたたり落ちる武道館で
ひたすら竹刀を振っている
君はタイムだけをライバルとして
何度もターンを繰り返している
君は「新記録を出せ」と鳴り響くピストルの音とたたかっている
君は風の通らない教室で 一心にトランペットを吹いている
君は髪の毛の乱れも気にとめないで
ネット越しにサーブを打っている
君はこんなことを こともなげにやっている
泣き言一つ言わずにやっている
君はそんな自分を頼もしいと感じているはずだ

君はあえて「努力」という言葉を口にしない
なぜなら 君はすべてを当たり前のようにやれるから・・・

この夏 君はどんな自分を見つけるのだろう
この夏 君はどんなに君自身を磨くのだろう
この夏 君は自分をどのように仕上げていくのだろう

君の中1の夏がいよいよ輝きはじめる・・・



公開します！ぜひお越しを。

7月次の活動を公開しますので、ぜひ、お誘い合わせの上お越しく下さい。

7月11日14:30～ 於：体育館「藤岡多野中体連夏季大会激励会(全校)」

7月14日13:40～15:30 於：体育館「職業人から話を聞く会(2年)」

7月26日 8:40～9:30 於：体育館「県総体出場者激励会(全校)」